

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会

〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839

購読料 年共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷

第516号

11月号 TOPICS

- 2面…22年後期安全研配信
- 3面…指導の改善求め要望書提出
- 4面…22年全国歯科会員調査
- 5面…日本の城郭こぼれ話
- 6面…会員訪問

2022年 東北6県経営税務共同アンケート実施概要(県内分)

- ・調査期間：9月12日(月)～9月26日(月)
- ・対象機関：県内内科・歯科開業医会員 714医療機関
- ・調査方法：アンケート用紙をFAXで送付し返送を依頼
- ・調査事項：経営・税務に関する事項及び過去3年間に税務調査を受けた場合は内容を調査
- ・回収率：16.5%(118件、うち内科83件、歯科35件)

山形県保険医協会は東北6県の保険医協会(東北ブロック)と合同で「東北6県経営税務共同アンケート」を実施した。今年で29回目となる。

昨年は新型コロナウイルスの影響で税務調査が中止となったことを踏まえアンケートは中止したが、令和4年度になり一部の地区では税務調査についての相談が寄せられていることから今年はアンケートを再開。

税務行政への意見、税務調査を受けた会員への設問のほか、高齢化が進む地域医療の状況を調査するため、事業継続に関する設問やコロナ禍による経営への影響

山形県保険医協会は東北6県の保険医協会(東北ブロック)と合同で「東北6県経営税務共同アンケート」を実施し、118機関より回答があった。

事業継続・事業承継の予定について

回答者の半分以上を60代以上が占める中で、「どのくらい先まで事業を継続する予定か」との設問では、「10年以上」との回答が内科・歯科ともに最も多く、内科34%、歯科37%であった。「5年～10年」は内科10%、歯科17%。「3年以上」は内科4%、歯科9%で、「未定」との回答は内科26%、歯科8%だった。

医療機関の承継について尋ねた設問では、「未定・検討中」とする医療機関が内科・歯科ともに最も多かったが、「家族・親族に承継予定」との回答は内科19%、歯科25%、「第三者へ承継予定」は内科4%、歯科3%。2割を超える医療機関で承継の準備が整っていることになる。一方、「閉院予定」は内科10%、歯科25%であった。

顧問税理士の有無、対応について

顧問税理士・会計士がいるかを尋ねた設問では、ほ

東北6県経営税務共同アンケート
閉院予定内科10%
歯科25%

経営税務アンケートに寄せられた意見(一部抜粋)

＜税務行政への意見＞

- ・医療にかかわる物品を非課税としてほしい
- ・日本人の税金は日本人のために使うこと

＜物価、電気代高騰、コロナによる支出増による事例＞

- ・コロナ対応で電話問診や検査に人員を要するので人材確保に苦労している
- ・コロナにより感染性廃棄物など処理料が多くなった
- ・収入が減って支出が増えたので公的な補助を申請するところだ
- ・光熱費の高騰、医療材料消耗品も日々値上がりしている。価格に転嫁できない医療介護分野に国、県の助成が必要
- ・全ての材料代が増えており物価高騰の影響がかなり出ている。昨年と収入がそこまで変わらないが材料費で収入が減っている

「税務面で不明な点があったときなど顧問税理士・会計士に相談している」との設問では8割の医療機関で「その都度している」と回答しており、良好な関係性であることが窺われる結果であった。

コロナ禍での医院経営の状況は?

2021年の医療収入が前年よりも「増えた」との回答は内科17%、歯科20%。「減った」との回答

は内科40%、歯科45%とコロナ禍での医院経営の状況悪化が顕著に表れている。「変わらない」は内科・歯科ともに約2割の回答であった。

新型コロナウイルスに加え、急激に進んでいる物価高騰の影響についての事例を尋ねた設問では、「ガス代の単価が6%値上げ、使用量の増加もあり約80%増加となった」「コロナの検査、事務手続き等で残業代が増えた」「感染症の診療で電話代が増加、印刷物、コピー代も3倍になった」などの意見が寄せられている。

県内で税務調査を受けたとの回答は1件であった。アンケート結果と寄せられた税務行政への意見は、東北ブロックで集約し、来年1月に予定されている仙台国税局への要請内容に反映される。

山形県保険医協会

第47回定期総会のご案内

日時：2022年11月19日(土)

会場：大手門パルズ3階 ホール霞城
山形市木の実町12-37

総会議事 16:00～17:00
(活動方針、予算・決算、役員選挙)

今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民公開講演会と懇親会は中止いたします。
会員の皆様には議案書を11月上旬に発送しております。

山形県保険医協会 2022年後期 医療安全管理
院内研修用テキストとWeb配信のご案内

内科・歯科
保健所立入検査対応

医療安全管理

患者トラブルの最近の特徴と対処方法(前編)

動画解説
元大阪府保険医協会事務局次長

尾内 康彦

院内感染対策

新型コロナクラスター発生の事例と対策

動画解説
ICD(インфекションコントロールドクター)認定医
山形県保険医協会理事長

中島 幸裕

動画時間 医療安全管理 約60分、院内感染対策 約15分(予定)

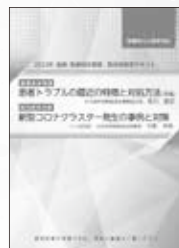
視聴期間 11月1日(火)～11月30日(水)

視聴方法 Web配信方式

インターネットによる視聴環境をご準備ください
視聴方法、ID、パスワードはテキストをご覧ください

対象 会員内科・歯科診療所、病院の全ての職員

テキスト、
視聴とも
無料です
(要申込)



A4版

つばさ

コロナ禍の2月にロシアのプーチン氏がウクライナに侵攻を開始してから9カ月になる。ウクライナ、ロシア双方では独裁国家の犠牲になり多くの命が奪われた。遠く離れた国々でも食糧危機やエネルギー危機など深刻な問題を抱えている。

また、人災だけでなく地震・火山・台風・大雨・猛暑・森林火災・大雪などの自然災害により、世界中で多くの人命や生活が失われることが多くなっている。近年とみに危機感を感じ

地球が出来たのは46億年前と言われている。人類が誕生したのは20万年前。地球の歴史の中で、人間が存在している期間はほんの一瞬だ。その人間が我欲のために地球を、自然を、そして人間自体を壊そうとしているようだ。これら全ては人間のエゴから起きているように思う。

だからこそ地球温暖化への対策として化石燃料の見直しや再生可能エネルギーの活用、安定した国家となるための食料自給率の向上や工業生産品の自給など、根本から考えなおす時期に来たのだと思う。共に競い合いながら共存するエコという方法を、個人・社会・国家を通して自覚することが大事である。これから山形には厳しい冬の季節が到来する。まずは個人として、冬支度をしっかりと行い備えたい。

(H)